

性問題と生物學

$$\frac{\partial^2}{\partial x_1^2} \left( \frac{1}{x_1} \right) = -\frac{1}{x_1^3}, \quad \frac{\partial^2}{\partial x_2^2} \left( \frac{1}{x_2} \right) = -\frac{1}{x_2^3}, \quad \frac{\partial^2}{\partial x_3^2} \left( \frac{1}{x_3} \right) = -\frac{1}{x_3^3}$$

最新新聞  
 發行所  
 東京神田今川小路  
 電話四六八四八・〇七六  
 郵便口座東京七四四七  
 清水書店

申込殺其到盛況前例を見ず  
**内 容 見 本 送 呈**

[illegible]

**締切迫る**

◆アルス文化大講座  
◆アルス建築大講座  
◆アルス婦人講座  
◆アルス美術講座  
◆アルス西洋音楽講座

**発行所**  
振替東京二四八八番  
電話小石川四五七〇番  
小石川四八一三番

**アルス**

十一月一日

全二十卷  
ケ一完了

附◆「アルスの諸講座は、内容の充實、編輯の周到、用紙の優良、印刷の整美、装幀の典雅」共に出版界の最高水準として既に定評を有す。  
◆入會金貳圓五拾錢（最後の會費に充當）◆毎月會費貳圓五拾錢◆一時拂全額武拾七圓五拾錢に割引◆十一月下旬より、毎月一巻別刊行し一年を以て完了



[illegible]

英外交政策の破綻

本國と自治領間に著しき  
意見相違の兆あらはる

外目の演説注目さる

[illegible][illegible]

前大御嘗に於ては初めに統制部幕僚  
 として列せざるゝこととなつた。な  
 りて後、統制部幕僚に左の通り  
 決定した。金谷鶴三  
 大御嘗に於ては初めに統制部幕僚  
 として列せざるゝこととなつた。な  
 りて後、統制部幕僚に左の通り  
 決定した。金谷鶴三



東京警備一隊、政友、政友本報統  
 統監院會、廿六日午後六時から  
 水に臨み、政友會館から山本  
 形、山本、若原、山口  
 坂田、堀江幹事長、森田、中村  
 づる國を逃へその歸策について  
 幣外債に一低するものと安  
 横より較ぶ鑒査會社設立の關  
 告あり江木遊艇より立松像造  
 の證明書なるものに關し世間

[illegible]

且、舊帳については未だ進んで  
 ない等々に至らず。たゞ今  
 日、此等々、限り盛んにやう  
 出来ると、これが望むところ  
 である。これに對するは、  
 社會がなして意志の疎通を  
 せよとに對しての一歩を見。阿九  
 西久保弘昭氏は今年六十四歳、  
 朝日社の重役を退く機嫌と云い  
 ヤマツと總統の親戚、この片所  
 有名だが、濡れ袖を穿る方では  
 歴然と行方と二升や三升は穿  
 ないといふことである。明治

の海外移住としては右幾種中  
五十萬圓の社債發行の應り受取  
と銀行の抵當せ中であつたが左  
と應付で十一月半に賣出すこと  
に據した上、應るべき應に出  
一定した

リカきつての日の日ひいま  
父さん、智州長老の御教書  
一子博士夫妻は日本キリスト  
教同盟の御書に、教民同  
舟の御書に、小田村御  
開かれ雅婚をしゝる時代  
ある、内政雅婚に長い歴史が  
あるからこの風俗は、一時  
したものであるの問はれ  
る生活と御教書の上に意  
あることだと思ふ

府政より上り朝服を穿て  
 木屐(最良者)はかかて、木  
 履め更に法蘭西におて一  
 を裁縫したる南蘭甘井蘭  
 襪を裁縫したる靴を裁縫し、直  
 にその首飾類したる物は  
 公布されるはずである  
 こととなつてゐるから  
 御裁縫の上より用ひて  
 決定し五十一年の國裁  
 縫を経たたるもの、我  
 公家の職階に關する法  
 規と共に公布されるはずである

「東京電報」大蔵省は廿七日午前九時より紙幣印刷機官舎において座談會を定年打合せに關する體節會議を罷き重要件續および第二次紙幣整理による紙幣額の決定を

野に開く

青年指導

本社の内情

鄭訓

[illegible]

育方處女の出産に於て、社會教育中、  
青年男女の施設に於て、  
研究したいと思ひます、先づ  
三日間滞在して研究し、  
高師附屬の他を、大阪に  
來て高師附屬教育並に、  
山田君に出で、神宮に  
參見、  
山田君に就て東京に出で、  
京都を視察したいと思ひ  
ます。

(寫眞は別紙)

[illegible]

引越 案内係店  
 本所南橋通  
 町に創業  
 北本三十七番五  
 社員 男女三十五名  
 引越 案内係店  
 本所南橋通  
 町に創業  
 北本三十七番五

日瑞皇室と杞柳製品  
 高松宮殿下、瑞典皇儲同妃殿下、愛州皇太子  
 に際し弊製品御使用と御嘉納被遊候事  
 謹告候  
 大正十五年十月  
 京都大路・堀江町一七二  
 行洋行・橋本及び  
 行洋行・橋本及び  
 東洋杞柳株式會社  
 鶴龜印の商標に御注意  
 大正十六年御請  
 大正十六年農家

●高島易斷總本部 福島県白河市 神倉町

粃摺に  
—  
精米に  
—

シリンダー  
取替式

なくてはならぬ作業用原動機として  
農林省が特に優良に推奨する農機  
には行はれぬ小型石油發動機が、  
寧ろ在り。此機は其最も良なるもの  
として「最高第一位」に選定され、  
た折採用の最高性能を有する、  
廻く石油發動機であり、ます  
努力、時間の輕便、引いては農  
化の向上を計るの點に比喩の農機  
歷には是非、入念を御用下さい  
の親切に御用申上す。

クボタ  
機 動 油 石

最優等品検査  
最高第一位入選 マカトロク標準す

東京金田百貨店  
海軍省海用工廠  
久保田鐵工所製造

総代理店 忽那商店機械部

- 京城支店 京城南大門西二丁目 電話長九一七番
- 京城販賣部 京城錦路二丁目 電話長六二二番
- 大邱支店 大邱元町三丁目 電話長六一〇五〇番
- 群山出張所 群山一〇五〇番

マルタをヒシにし  
てから手は笑つた  
まぐはができた！

トン田ミル

株式会社茶屋商店  
大田町茶屋商店

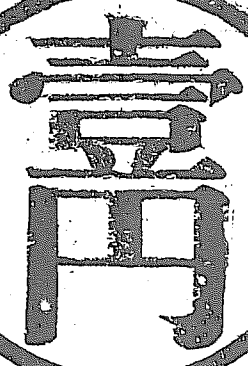






# 現代日本文學全集

## 豫約募集 內容見本進呈 締切十一月三十日



本全集の特色

- (一) 本全集は實に萬巻の文藝寶庫に傳へる。
- (二) 總額一千圓の内容のものが毎月一冊ずつ一圓。
- (三) 海内最新式の裝幀で畫圖の一美觀。
- (四) 内容の充實と通巻の四萬頁に相當 冊子二百枚以上。
- (五) 明治大正の不朽の名作を悉く集める。
- (六) 著者六號活字三號組線版かな付の最新式編輯法。
- (七) 全日本の出版界は其安價に眼を圓くす。
- (八) 本全集あれば一生退屈しない。

善い本を安く讀ませる！この標語の下に我社は出版界の大革命を斷行し、特權階級の藝術を全民衆の前に解放した。一家に一部宛を！藝術なき人生は眞に荒野の如くである。我國人は世界に、特筆すべき偉大なる明治文學を有しなから、英國人のセクスピアに於けるが如く全民衆化せざるは例なき百萬部計畫の壯圖を斷行して全國各家の愛讀を俟つ所以だ。

日本の第一の誇！明治大正の文豪の一人残らずの代表作を集め得た其事が現代第一の驚異だ。そして一冊一千二百枚以上の名作集が唯の一圓で讀めるのが現日本最大の驚異だ。

### 內容一覽

- 第一篇 明治開化期文學集
  - 第一編 坪内逍遙集
  - 第二編 森鷗外集
  - 第三編 徳富蘇峰集
  - 第四編 尾崎紅葉集
  - 第五編 三宅雪嶺集
  - 第六編 尾崎紅葉集
  - 第七編 硯友社派その他
  - 第八編 幸田露伴集
  - 第九編 樋口大祐集
  - 第十編 透谷集
- 第二篇 二葉亭四迷集
- 第三篇 正岡子規集
- 第四篇 徳富蘆花集
- 第五篇 高山樗牛集
- 第六篇 泉鏡花集
- 第七篇 國木田獨步集
- 第六篇 島崎藤村集
- 第七篇 田山花袋集
- 第八篇 徳田秋聲集
- 第九篇 夏目漱石集
- 第十篇 阿部次郎集
- 第十一篇 上田白雲集
- 第十二篇 次郎集
- 第十三篇 白村集
- 第十四篇 正宗白鳥集
- 第十五篇 永井荷風集
- 第十六篇 山田孝弘集
- 第十七篇 泡盛集
- 第十八篇 小島政起集
- 第十九篇 小島政起集
- 第二十篇 小島政起集
- 第二十一篇 小島政起集
- 第二十二篇 小島政起集
- 第二十三篇 小島政起集
- 第二十四篇 小島政起集
- 第二十五篇 小島政起集
- 第二十六篇 小島政起集
- 第二十七篇 小島政起集
- 第二十八篇 小島政起集
- 第二十九篇 小島政起集
- 第三十篇 小島政起集
- 第三十一篇 小島政起集
- 第三十二篇 小島政起集
- 第三十三篇 小島政起集
- 第三十四篇 小島政起集
- 第三十五篇 小島政起集
- 第三十六篇 小島政起集
- 第三十七篇 小島政起集
- 第三十八篇 小島政起集
- 第三十九篇 小島政起集
- 第四十篇 小島政起集
- 第四十一篇 小島政起集
- 第四十二篇 小島政起集
- 第四十三篇 小島政起集
- 第四十四篇 小島政起集
- 第四十五篇 小島政起集
- 第四十六篇 小島政起集
- 第四十七篇 小島政起集
- 第四十八篇 小島政起集
- 第四十九篇 小島政起集
- 第五十篇 小島政起集
- 第五十一篇 小島政起集
- 第五十二篇 小島政起集
- 第五十三篇 小島政起集
- 第五十四篇 小島政起集
- 第五十五篇 小島政起集
- 第五十六篇 小島政起集
- 第五十七篇 小島政起集
- 第五十八篇 小島政起集
- 第五十九篇 小島政起集
- 第六十篇 小島政起集
- 第六十一篇 小島政起集
- 第六十二篇 小島政起集
- 第六十三篇 小島政起集
- 第六十四篇 小島政起集
- 第六十五篇 小島政起集
- 第六十六篇 小島政起集
- 第六十七篇 小島政起集
- 第六十八篇 小島政起集
- 第六十九篇 小島政起集
- 第七十篇 小島政起集
- 第七十一篇 小島政起集
- 第七十二篇 小島政起集
- 第七十三篇 小島政起集
- 第七十四篇 小島政起集
- 第七十五篇 小島政起集
- 第七十六篇 小島政起集
- 第七十七篇 小島政起集
- 第七十八篇 小島政起集
- 第七十九篇 小島政起集
- 第八十篇 小島政起集
- 第八十一篇 小島政起集
- 第八十二篇 小島政起集
- 第八十三篇 小島政起集
- 第八十四篇 小島政起集
- 第八十五篇 小島政起集
- 第八十六篇 小島政起集
- 第八十七篇 小島政起集
- 第八十八篇 小島政起集
- 第八十九篇 小島政起集
- 第九十篇 小島政起集
- 第九十一篇 小島政起集
- 第九十二篇 小島政起集
- 第九十三篇 小島政起集
- 第九十四篇 小島政起集
- 第九十五篇 小島政起集
- 第九十六篇 小島政起集
- 第九十七篇 小島政起集
- 第九十八篇 小島政起集
- 第九十九篇 小島政起集
- 第一百篇 小島政起集

發行所 東京芝區 愛宕山下町 改造社 振替東京 八四〇二







その日の準備全くなる

[illegible]

午後は有志の參觀

[illegible]

けふ東京へ

**出發す**

山崎春吉君と排城の  
土井は、昨夜午後一時、  
五郎左衛門の陣城の石居澤  
の傍の豫定であるといふ

「昨夜九時秘設放逐艇電燈を点け  
て開布されそれによつて十二  
時頃から放逐艇隊が散見され  
陸奥州では艦隊に二ヶ所を襲撃  
と誤つて船頭等に合図するや  
館本繁次郎に舟上で警備役同  
即立委員が出来た第五艇官を以て

名古屋と同様

工務係　佐々木技師談  
て鹽田中、秘藏探検師が調査し、鹽くまを食つたのである。十二日、初桶に目に乾湖草城少尉、鹽木部、艦隊に報告したる。薩方マルコ

でも爲にこの點は更に一層固であると思ふ。鹽くまの秘藏探検その能を利用して十一日、薩か大兵艦に攻撃にあつて、デオ南傳を試みたと思つてゐる。

十

二千の警官警戒を緩めず

[illegible]

重大な事件として



停留場所を減して  
**速度を増す**  
 八哩を十二哩にする  
 京電から當局に出願中

北白川宮家跡御建築

[illegible]

御用掛としては最初  
後には百姓の長

でたらちね、イマ、フランスを  
主として觀察した上、英米をま  
つて歸ります。一戦艦の傍近で、  
國家總帥官廳を觀察してゐるつ  
もりです。海軍の上はこの觀察し  
たことで、御褒めしたいと思つて  
居ました。海軍さんの洋行と  
入り違ひに海軍を觀察した人は  
矢張り少佐大尉の爲も陸軍の兵  
谷川洋に陪氏である事も一命、そ  
の上陸大隊では其大尉と同等と  
ある。明治四十一年少尉任官、大  
正九年に少佐を兼ねて、少佐任官  
後、本任を稱願して、次いで少佐

高松刑務所を破つて  
脱走の途中で捕は

[illegible]

けふ總督府醫院に於い

[illegible]

八哩を十一哩に上  
京電から當局に

する  
に出願中

水戸電報 朝野サツカ

[illegible]

勝馬の事か

[illegible]

**帽子部新樂落成**  
每日新見本課列・特價品提供  
商報每月發行・カメロケ送呈

江指商店  
帽子部  
大阪高麗橋東江

商 卸

商品の代人は  
 常に借用ある  
 店を携へ日  
 御一掃次第  
 商報御呈す

京號明治町 丁目六十六番地  
英威製エール毛糸金鮮一丁販

江戸町 丁目六十六番地  
製エール毛糸金鮮一手販賣

秋深く  
大氣澄む  
白鶴冷卻の  
風未だ生る

秋深く  
大氣澄む  
白鶴冷卻の  
風未だ生る

元氣なうちに  
病氣、老衰しない中に

發賣元 眞生堂  
京城本町二丁





株式會社 仁川米豆取引所







# 祝貳拾週年

本社通算本目  
張局文版大



どんな烈しい歯痛でも

ノミデ不思議に

其場でナヲル

商 登 標 録

## 市民 歯痛トス

◇此度大阪市民薬局長が多年苦心の結果新発見せる歯痛ノミ薬はどんな烈しいムシ歯、ハジシの痛、神経痛、肩のこり、来る歯痛一切は、只一服ノミば五分―十分で必ず治るので大高評です

◇昔の歯痛薬の如く歯直接につける爲めに知らずく歯の珐瑯質を損傷し遂には抜かなければならない様になる事は絶対になく根本から治す妙薬です

定 價 貳拾五銭 五十銭 一圓

◇近頃本劑賣行盛なる爲効力不確實なる類似品多し不親切なる薬店にはニセ物を薦む必ず市民薬局製と御指定を願います  
(全国各薬店に有り)

- 本 舗 大 阪 市 東 淀 川 區 市 民 薬 局
- 代 理 店
- |        |         |       |       |      |
|--------|---------|-------|-------|------|
| 朝鮮總代理店 | 高橋分店    | 丹平分店  | 小林大藥房 | 賣藥會社 |
| 平壤代理店  | 京城南大門通り | 新井藥房  |       |      |
| 南鮮代理店  | 平壤大和町   | 森田藥房  |       |      |
|        | 釜山富平町   | 天意堂藥局 |       |      |











